内的作業モデルが養育者の「素直になれなさ」に与える影響

大学生との比較を通して

永井知子

(四国大学 短期大学部)

キーワード：内的作業モデル・素直になれなさ・養育者

Effects of internal working models of attachment on “cannot be obedient” of caregivers

Tomoko Nagai

(Shikoku University Junior College)

Key Words: internal working models, cannot be obedient, caregivers

目 的

近年、少子化や核家族化、女性のライフスタイルの変化等、様々な子育て環境を想定した支援の在り方を検討することが求められている。これまで、高い道具的サポートや情緒的サポートが、直接的に育児不安を解消させる可能性がある（森永ら、2003）等、育児不安とサポートには肯定的な関連が示されていた。しかし、サポートを要請する意識はあっても実際に行動に移せるかは別問題である（笠原、2000）。永井ら（2015）によると、素直になれない人ほど、育児不安が高く、特定のサポートを低く認知したり、サポートへの満足度が低かったりすることが示唆されている。さらに、鎌田（2007）の研究においても、内的作業モデルが不安定な場合、育児へのネガティブな感情を持ちやすく、社会支援（身近な人や専門職への相談等）に対する満足感が低いことや、援助に対して消極的であることが示されている。つまり、養育者が、育児不安の軽減につながるサポートを素直に受け入れられるかどうかは、他者の優しさを受け入れられるかといった、自己と他者の関係性の認識に基づいた対人関係のパターン（内的作業モデル）が影響している可能性がある。また、内的作業モデルは親になることにより新たな再組織化が起こる可能性があるため（数井、2005）、養育者と大学生では素直さとの関連が異なることが予測される。そこで、本研究では素直になれなさの個人要因として内的作業モデルに注目し、さらに、大学生との違いについて検討することを目的とする。

方 法

対象者：A 県内の幼稚園または保育園に通園する子どもの養育者 194 名。A 県内の大学生 144 名。
調査内容：「素直になれなさ」に関する項目を含む「意地尺度（短縮版）」（永井ら、2006）、「ECR 日本語版尺度」（加藤、2007）を使用し、それぞれ 6 件法、5 件法にて回答を求めた。調査は、2014 年 11 月～12 月に実施した。
倫理的配慮：学内倫理審査委員会の承認後、依頼状に明記して調査を行った。

結 果

「素直になれなさ」を従属変数とし、「不安」、「回避」、「属性（養育者と大学生）」および、それら交互作用項を独立変数として重回帰分析（強制投入法）を行ったところ、「不安」（ $\beta = .419, p < .01$ ）、「回避」（ $\beta = .504, p < .01$ ）「不安」×「回避」（ $\beta = -.497, p < .05$ ）の交互作用、「不安」×「回避」×「属性」（ $\beta = .212, p < .05$ ）の交互作用に有意な関連が示された（ $R^2 = .340, p < .01$ ）。すなわち、養育者において、不安が低い人は、回避が高い場合に素直になれず、回避が低い人は、不安が高い場合に素直になれないことが示唆された（図 1）。

考 察

本研究の結果より、内的作業モデルは大学生と養育者の「素直になれなさ」にそれぞれ影響を与えることが示唆された。ただし、大学生と養育者では影響の与え方に違いがあり、養育者についてのみ、不安（自己観）と回避（他者観）の対応関係において素直になれなさを異なることが示唆された。養育者の「素直になれなさ」は、より複雑な対人関係のパターンに影響されているのかもしれない。また、その背景には、子どもの存在あるいは子育てといった経験が養育者の意識と関連している可能性が考えられる。今後、支援の在り方を考える上で、養育者特有の「素直になれなさ」の要因や、サポートとの関連等を検討することが必要である。

引用文献

- 鎌田佳奈美・石原あや・川村千恵子（2007）乳幼児をもつ母親の内的ワーキングモデルと社会支援に対する態度との関連 大阪府立大学看護学部紀要, 13(1), 1-8.
笠原正洋（2000）保育者による育児支援：子育て家庭保護者の援助要請意識および行動から 中村学園研究紀要, 32.
加藤孝士（2007）養育者への重要な他者からのサポートと内的作業モデルの関連 発達心理学研究, 18, 185-195.
数井みゆき・遠藤利彦（2005）アタッチメント—生涯にわたる絆— ミネルヴァ書房.
森永今日子・山内隆（2003）出産後の女性におけるソーシャルサポートネットワークの変容 心理学研究, 74(5).
永井知子・串崎真志（2006）意地尺度（短縮版）の作成 文部科学省学術フロンティア研究成果報告書（関西大学大学院社会学研究科）, 177-187.
永井知子（2015）養育者の「素直になれなさ」と育児不安、ソーシャル・サポートとの関連 小児保健協会第62会学術集会要旨集
付記：本研究は科学研究費（基盤（C）, 26350949, 研究代表者：加藤孝士）の助成を受け実施された。